



ENGINEER® の MPDP ダイアリー

高崎 充弘

第40回 「精華隊」の誕生 ~デザイナーからMPDPプロデューサーへ~



[Profile]

東京大学工学部卒業後、三井造船入社。米国レンスラー工科大学で修士課程修了後、(株)エンジニアの前身である双葉工具に入社。2004年に同社代表取締役社長に就任。独自の「MPDP理論」によるニッポンのモノづくり立国を提唱している。

京都精華大学 デザイン学部から今春2名の卒業生がチーム・エンジニアのメンバーに加わりました。

2年前に彼らと同じゼミの先輩が当社に入社しているため、同大の卒業生は合計3名となり、社内最大の学閥(?)が形成されることになりました。クリスマスにはまだ早いですが、チーム内では聖歌隊ならぬ「精華隊」の愛称で親しまれています。

「MPDPを一気通貫にプロデュースできる人材としてデザイン思考を実践できるデザイナーが候補になり得る」と5月号の本稿で述べさせていただきましたが、大学で4年間デザインをみっちり学んできた彼らが、デザインだけでなく、MPDPをしっかり理解し、実践経験を積み、プロデューサーとして大きく成長してくれることを期待しています。

その流れに呼応するように今年4月から、同デザイン学部プロダクト・コミュニケーションコース(通称:ぷろこみゅ)の3年生を対象とした当社との産学連携授業がスタートしました。個人的にはこれまでも外部講師として幾つかの大学で講義をさせていただいた経験はありますが、学生と一緒にモノづくりを行う本格的なコースを担当するのは初めてです。

そこで、チーム・エンジニアの開発メンバーが総力を挙げてこのコラボ授業に取り組むことになりました。

キックオフセミナーでは、「ネジザウルスGTの開発から得られたMPDP理論」というテーマで筆者が基調講義を行い、続いて当社メンバーからJ-PlatPatによる特許、意匠、商標の調査方法について説明しました。

そして、学生たちを「ペンチ」「ドライバー」「ハサミ」という3つのチームに分け、それぞれの工具カテゴリーにおいてマーケティング、パテント、デザイン、プロモーションに基づきながら開発を進め、3カ月後にその成果を発表するという課題を与えました。

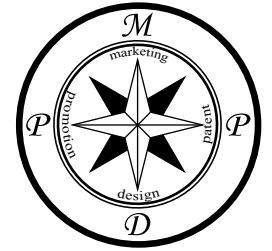
最終発表&選考会が7月末に行われますが、完成品だけでなく、どのようなプロセスでMPDPを実践したかということも評価しますので、Facebookで各チームの開発状況を日々見守っています。

現在、日本の多くの高校や大学では、学生に知財の基礎知識を教えていません。これが、「中小企業の知財活用がなかなか進まない」原因の一つにもなっているのです。

大企業には知財部があるので、研究者や技術者に知財の知識がなくても会社としての知財戦略を構築できますが、中小企業には知財部がないことも多く、その場合は社外の弁理士に頼らざるを得ない。しかし、社内で知財のイロハを教わった経験のある者はいないため、弁理士とコミュニケーションが図れない。よって知財活用は進まないというわけです(「2階からビール理論」2013年9月号p.29参照)。

山口大学では全国に先駆けて知財を必修科目にしているものの、この動きが全大学に広がるには、まだ少し時間がかかりそうです。文部科学省が推進する知財教育の拡充計画には大いに期待していますが、筆者はまず、デザイン系の学部・学科から優先して知財教育を導入してはどうかと考えています。

それがモノづくりに必須となるMPDPプロデューサーを育てるうえで、最も効果的ではないでしょうか。



ウ：銀ちゃん、アンタ「精華隊」のリーダーなんやって？
MPDP理論をちゃんと教育できるんかいな？

銀：エンジニア公認サバイバルゲーム部にも入ってもら
たし、オンでもオフでもみっちり鍛え上げませ！

高：銀次郎くんは4月からめでたく課長に昇進したこと
だし、リーダーシップに大いに期待しているよ。

ウ：か、課長でっか！？ これからは、「銀ちゃ〜ん」
なんて気安う言われへんな！（^_^;）

高：当社では新入社員には必ず知財管理技能検定3級を
受けてもらうことになっているんだが、精華隊の新
メンバーは7月に受検だったよね？

ウ：社長はん、それやったら心配おまへんで。銀次郎課
長のご指導の下、「一●合格」間違いなしでっせ！

銀：ちょっと待ってんか？ その「●」ってなんやねん？
めっちゃ気になるやん。

高：「一発合格」ということじゃないのかい？

ウ：そうなったら万々歳やけど、それは無理でも「一桁
合格」は間違いなしっちゃうことですわ……（^_^;）

銀：ホンマ、失礼なやっちゃな！ 誰も好き好んで9回
も受検したわけちゃうで！（-_-）

高：エンジニアに精華隊が誕生するまで、いろいろな方
とのご縁があったんだが、そもそもの始まりは今か
ら約7年前に届いた一枚の愛用者カードだった。

銀：ご購入いただいたハサミの使用感やアドバイスが丁
寧に書かれてて、超感動しましたわ。

ウ：西宮（兵庫県）にお住まいのプロダクトデザイナー
さんのようやから、一度お会いしてみようっちゃう
ことになったんでんな。

銀：社長はんと一緒に何度もご自宅や事務所にお邪魔し
て、デザインの勉強をさせていただきましたな〜。
まさに目からウロコの連続でした。

高：「鉄腕ハサミGT」の開発でもお世話になり（2014年
8月号参照）、米国で最高権威のIDEA（International
Design Excellence Awards）のファイナリストや、
日本のグッドデザイン賞にも選ばれたね。

ウ：それからしばらくして京都精華大学のデザイン学部
の講師にならはりましたん。

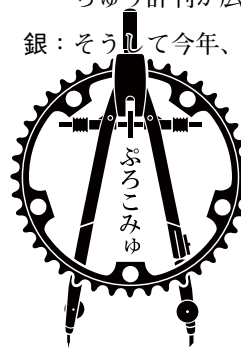
高：MPDP理論の出前授業を依頼されて、銀次郎くんと
2人で精華大にお邪魔したのが3年前だったね。

銀：その時の講義を熱心に聴いてたんが当時3年生で、
ウチの精華隊のトップバッターのMayuやってん！

ウ：Mayuが入社してから、クラスメートや後輩が何
人もインターンやアルバイトに来てくれるよう
になって、ユニークな工具を創ってる面白い会社っ
ちゅう評判が広まったみたいや。

銀：そうして今年、精華隊トリオが誕生！（*^^*）

ENGINEER® ×



PRODUCT COMMUNICATION
We Love Human & Industrial

